



鳥栖中学校区 小中一貫だより

鳥栖中学校 鳥栖小学校 鳥栖北小学校

令和4年7月20日



盛夏の候、鳥栖中学校区の保護者の皆様には、各学校の教育にご理解・ご協力いただきありがとうございます。
鳥栖中学校区3校では、小中連携して、研究主題である「心豊かで、たくましく、自ら学ぶ“とすっ子”の育成」に取り組んでいます。そして、小中一貫教育の推進のため、「学びづくり部」「生活づくり部」「仲間づくり部」「特別支援教育部」の4部会を組織し、それぞれの部会でテーマを掲げて研究をしています。

本号では4部会の今年度の取組内容についてお知らせいたします。

小中一貫教育研究会事務局

学びづくり部

学びづくり部の研究主題を『深い学びにつながる「話し合う活動」を取り入れた授業づくり』とし、小・中学校9年間を通して児童生徒が確かな学力を身に付けられるようにしていきます。現在の状況を考えると積極的な学校間交流はできませんが、以下に挙げる取組を鳥栖中学校区3校で共通して行います。

◇ 学年部等の単位での授業研究

学年部、専門教科部で「話し合う活動」を取り入れた授業研究を行い、楽しく分かりやすい授業を目指します。

◇ 授業の相互参観

鳥栖中学校区3校では、当番校を決め相互に授業参観することで、校種を超えた児童生徒理解を深めています。本年度の当番校は鳥栖北小学校です。

◇ 学力・学習状況調査を活用した児童生徒の実態把握

5月に実施しました全国の学力学習状況調査の結果を分析し、授業改善に生かします。更に12月実施予定の県の調査で学力に関わる調査分析を行い、鳥栖中学校区における学力向上に取り組めます。



仲間づくり部

仲間づくり部では、6月17日に仲間づくり部の部長会を開き、今年度の取組について話し合いました。児童生徒が義務教育の9年間の中で、一人ひとりのよさや違いを認め、人権意識を高められるように、児童生徒間の交流を行っていきます。

◇ 各学校では、共通して次の項目に取り組めます。

- ・ 人権を大切にする視点を重視したよりよい仲間づくり。
- ・ 児童・生徒会活動の交流に関する計画の立案と実施。
- ・ 構造的エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを取り入れた授業づくり。

〈年間計画〉

- 7月 部活動見学・「待っていますのメッセージ」 (中止)
- 8月 いじめに関する生徒会及び児童会の意見交流会
- 9月 「人権標語」を各学校で作成。3校で共有。
- 11月 小中あいさつ運動 (中学生が小学校を訪問)
中学校への入学説明会で中学生が母校を訪問 (検討中)
- 2月 6年生から中学生への質問会 (リモートで実施を検討中)

(本年度もコロナ禍であるため、中止になる場合があります。)

生活づくり部

6月に3校の生活づくり部長会を開きました。その中で、本年度の生徒指導に関わる取組について話し合いました。昨年まで鳥栖中学校区で取り組んできた内容を振り返り、コロナ禍においても児童生徒の健やかな成長を願い、継続すべきことを精査して、下記のように整理しました。

- 「学習の約束」を基本として、授業態度や学習に取り組む姿勢の指導を行っていくこと。
- 「とすっ子家庭学習の手引き」を全ての家庭に配布して、統一して取り組むこと。
- 鳥栖中学校のテスト期間に合わせて、小学校では「生活リズムアップ大作戦」週間を設定し、家庭と連携して学習や生活などの家庭での過ごし方の安定や向上に取り組むこと。



本年度も、地域や家庭の協力をいただきながら、子供達の9年間での確かな成長を願って取り組んでいきます。

特別支援教育部

特別支援教育部では、小中学校9年間を通して継続的かつ連続的な指導や支援ができるように取り組んでいきます。今年度の取組を紹介します。

研究主題

義務教育期の障害のある児童生徒の自立を目指した特別支援教育

(1) 小中連携体制の取組

- ① なかよし交流会の実施 (小5・6年と中学生)
- ② 鳥栖中学校への体験入学会、部活動見学 (中止)
- ③ 特別支援に関わる情報交換
- ④ 特別支援教育に係る専門性と指導力向上
- ⑤ 教材・教具の情報交換
- ⑥ 保護者向け鳥栖中特別支援学級見学及び相談会 (小5)
- ⑦ 小中学校間での特別支援教育支援員情報交換会

(2) 小中一貫の取組

- ① 個別の支援・指導計画の作成、活用及び運営方法の共通化
- ② 特別支援の指導・支援方法を高める共同研修の実施
- ③ 全児童生徒への「特別支援学級・通級学級」の共通理解化
感染症予防対策のため、多人数の行事の実施は未定ですが、児童生徒、保護者が安心して支援が受けられるように取り組めます。